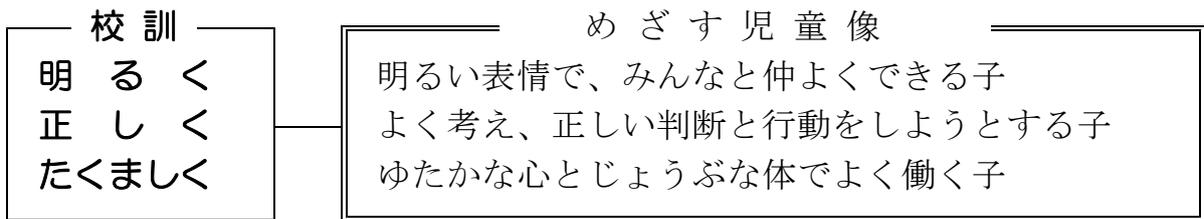


1 教育目標

(1) 本校の教育目標



(2) 経営方針

子ども及び教職員一人一人がよさや可能性を認識し、他者と協働して社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくために、多様性と包摂性を重視し、「共にじぶんらしくかがやき、のびる学校(=にじの学校)」をつくることを目指す。そこで、次の5点を学校経営の方針とする。

- ① 多 様 性 の 尊 重：一人一人の個性や特性、背景を尊重し、違いを認め合う。異なる意見や考えを大切にして、対話を通して理解を深める。
- ② 包 摂 的 な 教 育：学校・学級が安全基地となり、自分らしさを発揮して成長する教育環境を整える。
- ③ デジタル学習基盤の活用：すべての子にとって資質・能力の育成に資するように活用を図る。教職員にとって授業・校務における積極的な活用を推進する。
- ④ 家庭・地域との連携：学校経営方針や教育活動の様子を伝え、家庭や地域と連携して、子どもが育つ(伸びる)学校にしていく。
- ⑤ 働き方改革の推進：働き方改革を推進することで、教師の専門性を高めるための時間と心のゆとりを確保し、学びの専門職としての役割を果たす。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 一人一人が自分らしく輝き、居場所のある学級づくり
- ・すべての子が、一人の人間として大切にされている学級をつくる。
 - ・違いを認め合い、尊重し、対話を通して共感的な人間関係をつくる。
 - ・子どもが意見を表明して、自己選択、自己決定できる場を提供する。
- イ 自律的な学びを育てる授業づくり
- ・「教師が子どもを育てる」から「子どもが育つ教師になる」ことを意識する。
 - ・デジタル学習基盤を活用し、子どもを主語にした授業づくりを行う。
 - ・わくわく感を原動力に、他者や環境と響き合いながら、探究し続ける子を育てる。
- ウ 安全・安心な学校づくり
- ・子どもの安全確保を最優先とし、多くの目で校内の危険に気づき、危機管理を徹底する。
 - ・子どもの最善の利益を考え、チーム新田小として対応する。
 - ・関係諸機関と適切に連絡を取り、情報の共有、連携を図り、協働する。
- エ 働き方改革を進め、教職員にとって働きがいのある職場づくり
- ・多様な働き方の教職員がいることを認め合い、対話を通して納得と理解のある職場風土をつくる。
 - ・校務のDX化等により、業務の効率化をさらに追求する。
 - ・ワークライフバランスの意識を高め、在校等時間の縮減により生み出した時間を教師の専門性を高めるための時間として有効に活用し、教師自らが学び続ける。